

The sin of eating

～ 食の罪 ～

『プレイズ&プレデターズ卓上RPG』専用シナリオ

参加可能人数

下限:1人

上限:4人

トレーラー

それは…

獣人たちの物語…。

はるか遠くの恒星系『アスラニア』。

そこは食物連鎖が支配する混沌の世界。

『アスラニア』のあるところに、『レノギア』という国があった。

その国の食糧調達は二つ手段をとっていた。

一つは他国の動物(獣人を含む)を狩りに行くこと。

もう一つは自国の階級が最も低い者を餌食にすること。

その制度は…、

やがて、ある事件の引き金となった。

～ プレイズ&プレデターズ卓上RPG ～

～ The sin of eating ～

シナリオハンドアウト (全PC共通)

あるところに、レノギアという国があります。

その国は国民区別型国家の階級争いが絶えない方です。

その為、その国家で生き残るには、ある程度の地位を得なければなりません。

そんな国家であなたは生きています。

国民階級はEです。

あなたは友達と食事をしているのですが、

あなたはとある事件に巻き込まれることになるのです。

メインプレイの進行

第1サイクル

第1サイクルで提示するエリアは『酒場』のみです。

酒場

そこまで知らない友人の兎獣人ラノと酒場で会話しています。
すると、食べ物を残す柄の悪そうなヤンキーがいました。
そのヤンキーに対して、どこからともなく現れた狼獣人ヴォルフが「食べ物を残すとは良い度胸だ。」と言って、戦いを仕掛け、ヤンキーは尻尾を巻いて逃げて行きます。
ヴォルフもPCとはそこまで知らない友人という間柄です。
その後、ラノとヴォルフと会話します。

第2サイクル

第2サイクルで提示するエリアは『レストラン』『商店街』です。

喫茶店

ラノと出会います。
<愛:ラノ>を5個以上取得している場合、ラノの過去を聞くことができます。
ラノは家族をブレデター至上主義食糧調達国家の狩人に殺されたそうです。
さらに、この国でブレデターから差別を受けていたそうです。

酒場

ヴォルフと出会います。
<愛:ヴォルフ>を5個以上取得している場合、ヴォルフの過去を聞くことができます。
ヴォルフは元々他の国にいて、この国の狩人に捕まり、食べ物にされそうになったそうです。
家族も食べ物にされ、友人も沢山食べ物されたそうです。
しかし、命からがら脱獄したそうです。
だから、食べ物を残すのは許せないそうです。

第3サイクル

第3サイクルで提示するエリアは『ブリーフィングルーム』のみです。

ブリーフィングルーム

国の上の者から、「連続猟奇殺獣人事件」が発生しているので、犯人を捕まえてほしい」と依頼されます。
死体は全て惨殺死体。
ちなみに、一週間後、PC達は階級が1つ下がり、Fになってしまいます。
階級がFになると食べ物にされてしまいます。
その為、1週間以内にEからDへ上げる必要があります。
依頼を達成すれば、Dへ上げてもらえるそうです。

第4サイクル

第4サイクルで提示するエリアは『公園』と『商店街』です。

公園

連続殺獣人事件は食べ物を残す者を中心に狙っているらしいという話を聞く。

商店街

連続殺獣人事件はハービゾアを差別する者を中心に狙っているらしいという話を聞く。

第5サイクル

第5サイクルで提示するエリアは『路地裏A』と『路地裏B』です。

路地裏A

「グシャッ・・・。」
「グシャッ・・・。」
そんな音が聞こえます。
そして、ブレデター惨殺するラノの姿が・・・。

路地裏B

「ブジュリ・・・。」
「ブジュリ・・・。」
そんな音が聞こえます。
そして、獣人を喰らうヴォルフの姿が・・・。

第6サイクル

第6サイクルで提示するエリアは『酒場』のみです。

酒場

今まで起きたことによって異なる結末を描写します。

シナリオの真相

連続猟奇殺獣人事件の正体

この事件は2つの真実から成り立っています。

1つは兎獣人ラノ。

彼女は家族をプレデター至上主義食糧調達国家の狩人に殺され、さらに、この国でプレデターから差別を受けていたそうです。

その復讐からカウンターを差別するプレデターを殺していました。

もう1つは狼獣人ヴォルフ。

彼は元々他の国にいて、この国の狩人に捕まり、食べ物にされそうになりました。

家族も食べ物にされ、友人も沢山食べ物されました。

しかし、命からがら脱獄しました。

その為、食べ物を残す者が許せず、そういう者を捕食していました。

アビリティ・アイテム・食性のデータ

ラノ	サンプルキャラクター: 兎の復讐者を参照
ヴォルフ	サンプルキャラクター: 嘘つき狼さんを参照